



ヤマハ依頼の120cmのスマールグランドピアノ試作品

研究テーマ

ピアノ工房『大橋ピアノ研究所』アーカイブ作成のための調査研究

目的・概要

浜松市博物館に寄贈され、そのまま未整理で收藏されている大橋ピアノ研究所の收藏資料をもとに、都市の産業遺産としての資料整理の手法などを研究する

期間

平成25年7月1日～平成26年3月31日

研究担当者

根本敏行教授（文化政策学科）、藤田憲一名誉教授、加藤裕治准教授（文化政策学科）、四方田雅史准教授（文化政策学科）、奥中康人准教授（芸術文化学科）、羽田隆志教授（メディア造形学科）、富田晋司研究員（文化・芸術研究センター）

スケジュール

2013年7月	浜松市博物館 收藏庫 訪問調査
2013年7月	竹中大工道具館 訪問調査
2014年1月	松本ピアノ・オルガン保存会 訪問調査
2014年2月	浜松市博物館 訪問調査



工房に残っていた部品類



ピアノ製造の工具類

研究成果

- (1) 博物館収蔵品のアーカイブについての基礎的研究（文献調査主体）：博物館におけるアーカイブの発達と現状を歴史的経緯から振り返り、特に今日のデジタル・アーカイブと学芸員制度との関連について
- (2) 産業分野（ものづくり）分野におけるアーカイブの手法についての研究（竹中大工道具館ほかでのヒアリングを含む）：博物館のアーカイブの類型について概観するとともに、産業分野の博物館における分類手法や台帳の作成手法についての研究
- (3) 資料分類法の目録記載事項についての考察：以上の調査結果を踏まえ、博物館資料分類の意義や現状、分類作業についての考察と、具体的な資料目録の意義、分類目録法、目録記載事項とその飼料代長、目録についての考察
- (4) ピアノの製造、構造と資材と製造に関わる工具等の調査：ピアノ製造に特化した資材、工程、工具類、とりわけ治具についての調査と考察
- (5) 同工具等の分類票案について：上記について、具体的なアーカイブ台帳として整理するための試案など
- (6) ピアノ工房のアーカイブ化における資料分類の提案と課題

今後の研究成果の還元方法

- (1) 本学文化芸術セミナー：浜松 楽器の事典 ピアノ編 第5章「楽器産業と創造都市」H26年12月17日にて公開報告
- (2) 平成27年度中：雑誌『都市・地域研究』に研究報告執筆予定
- (3) 平成28年度静岡文化芸術大学紀要に掲載予定
- (4) バンバン・ケンバンなどの関連イベントへの成果の還元
- (5) 浜松市博物館の事情により收藏場所が変更になったため、引き続き調査を継続する